



(帯広市)NPO法人
猫たちを守る十勝Wishの会
代表 原田 美加

北海道の保護団体からひとこと②

飼い主さんが高齢のため入院や施設に入居、または認知症が進み世話ができないため猫を手離したいと本人ではなく身内や介護施設の方からの相談がとて増えています。

猫の寿命は約20年。ご自分がいつまで世話ができるか考え猫を迎えましょう。また、年齢に関わらず独居の方は、自分にも何かあった場合に猫を託せる人を見つけておくことも大切です。

現在、我が家には当施設を引退した高齢猫や猫エイズを発症した子など8匹が暮らしています。もちろん最後まで責任をもってお世話をし看とります。一匹でも多くの猫が幸せな猫生を送れるよう、皆さまのご協力をお願いします。



Cat Cafe Wish キャリア猫の大妻



CASE 12

- ✓ おしっこが出ない、少ない

ねこかぶにょうろっかん 猫下部尿路疾患

猫下部尿路疾患は、排尿困難や頻尿、不適切な排尿を引き起こすさまざまな疾患の総称です。その中でも、原因不明に突然発症する特発性膀胱炎が猫にはしばしば見られます。原因としては、トイレや猫砂などの環境の変化、ストレスなどが挙げられ、神経質な性格の猫では、家に来客があったり、逆に長時間家を空けているだけで発症することがあります。トイレに何度も出入りする、長時間排尿姿勢をとる、排尿時に唸ったり鳴いたりする、一度の排尿量は少ないなどが特徴で、トイレ外での排尿もよく見られます。また、血尿も一般的です。



CASE 13

- ✓ おしっこが出ない、少ない

にょうろけっせき 尿路結石

猫ではストラバイトとシュウ酸カルシウムという2種類の結石が一般的に認められます。特に若いオス猫では、砂状の結石による尿道閉塞がしばしば見られます。尿道が閉塞するとおしっこを出したくても出せず、トイレで唸りながら何度もいきむ様子が観察されます。おしっこが長期間出ないと腎不全になり重篤な状態に陥ります。体質とドライフードが



原因とされています。尿路結石を予防する食事(c/d、pHコントロールなど)もありますので、動物病院にご相談ください。

泌尿器の病気

CASE 14

- ✓ 吐く
- ✓ 下痢
- ✓ おしっこが出ない、少ない
- ✓ よだれが多い
- ✓ 水をたくさん飲む、おしっこが多い

じんふぜん 腎不全

腎不全は、尿道閉塞や中毒物質の摂取などにより急激に発症する急性腎不全と、加齢などによって腎臓の機能が少しずつ低下していく慢性腎不全に分けられます。急性腎不全では急激な元気、食欲の低下、嘔吐、下痢などが認められます。尿道閉塞以外でも腎臓で尿が作られなくなることがあり、おしっこが減ります。慢性腎不全は、特に10歳以上の高齢になった猫で一般的に認められる病気です。15歳以上の猫では30%以上が慢性腎不全を患っているとの報告もあります。初期には飲水量の増加、尿量の増加が認められ、薄いおしっこを大量に排泄するようになります。進行すると尿毒症と呼ばれる状態になり、嘔吐やよだれ、食欲低下などが認められます。さらに進行すると腎臓で尿が作られなくなり、おしっこが減ります。人間では人工透析が行われますが、猫では一般的でなく、点滴などによる緩和治療が行われます。慢性腎不全は、早期に発見すれば食事療法などで悪化を遅らせることが可能です。ただし、治癒することはできず、少しずつ進行していきます。



トイレ掃除の時に尿や糞の状態を見て猫の健康チェックをしましょう

